

2019 春号 No.78

穂 濤

For WASEDA University Old Boys & Girls

平成31年度定時総会

平成最後の定時総会

平成31年度定時総会が2月9日(土)、藤沢市民会館にて開催された。当日は大寒波の襲来で降雪があるなどとの予報により参加者の足元が心配された。また、インフルエンザの流行などで直前の欠席者が増加するのではないかと危惧された。

しかしながら、降雨・降雪も杞憂に終わり、95名の会員が出席した。定時総会は、午後2時より大学側来賓2名も出席して、松嶋治事務局長の司会で開始した。冒頭、昨年度物故された会員5名に対し、全員で黙祷を行い、まず、内田進会長より次のような挨拶と報告が行われた。

会長就任後1年が経過して、会員増強と恒例の行事を優先課題として取組んできた。会員増強では、昨年度加入会員の半数は平成卒の会員であった。この傾向をさらに進めていきたい。恒例行事では、行事への参加者の減少と固定化の傾向にあり、先行きに大きな危機感を持っているが、気軽に参加できる行事を実施して、地域活動の場を提供していきたい。

また、来年は神奈川県支部大会を藤沢稲門会の主管で迎えるので、この1年を駆け上げたい。



2019 定時総会

ロジエクトチームを編成して準備に入りたい。

議事の審議は、公平仲夫副会長を議長に選任し取り進められた。酒井一二幹事長より「活動報告及び事業計画」、皆川龍司会計担当幹事より「決算報告及び予算」、渋谷道夫会計監事より「監査報告」などが発表され、異議なく承認された。「役員選任議案」では退任幹事4名および新任幹事4名の報告がなされ、大きな拍手で承認された。提案された1〜5号議案は、全て承認され、時間通りに平成最後の総会を終了する事ができた。

(山口金雄 記/写真 高野尚志)

平成31年・令和元年度 事業計画

「行事・他」

☆箱根駅伝応援 1月2・3日

※東地区・藤沢橋「神中興業」が移転するため、代替応援会場を検討中

☆総会・新春の集い(藤沢市民会館) 2月9日

☆地引き綱(堀川綱) 6月30日

☆作品展(藤沢市民ギャラリー・ODAKYU湘南GATE 6階) 8月27日〜9月1日

☆BBQに代わる新たな行事

☆忘年会(藤沢市民会館) 12月8日

☆神奈川県支部大会(厚木稲門会主管) 11月2日

☆一般会員メーリングリストの登録拡充 随時

☆「活動」

☆県下稲門会の総会・懇親会等への出席交流及び藤沢地区他大学OB会との交流

☆来年度藤沢稲門会主管で開催する神奈川県支部大会の諸準備

◆「各委員会活動方針」

◆「行事企画運営委員会」

☆行事企画・運営に関しては、新規行事を含め、より魅力的な企画に努める。また、収支

均衡をめざして運営に努力する。

◆組織拡大活性化委員会

☆会員により、居住・職場周辺より入会呼びかけを推進し、会員拡大を図る。

☆新入会員交流会を実施し、行事・同好会へ参加を推進する。

☆新たな同好会・年次同窓会等を推進し、会員相互の活性化を図る。

☆平成卒の会と連携し、若手会員の増強と活動活性化を図る。

◆「広報委員会」

☆穂濤を次のとおり年4回(計20頁)発行する。

77号(初春号) 1月20日6頁

78号(春号) 4月20日6頁

79号(夏号) 7月20日4頁

80号(秋号) 10月20日4頁

◆「女性委員会」

☆女性校友の入会呼びかけを推進する。

☆女性校友相互の親睦を深める。(フチ懇親会を1〜2回実施)

☆県下他稲門会「女性の会」との交流に努める。

◆「若手の親睦・交流活動」

☆平成卒の会により稲門祭出店を計画。他稲門会「若手の会」との親睦交流を推進。

◆「各委員会では幹事のみでなく、一般の会員から委員への参加を期待しています。」

穂 瀧

「昭和歌謡」に癒されて!!

新春の集い

総会終了後の「新春の集い」は、内田進会長の元気でスマートな挨拶からスタートしました。続いて、永田昇・林陽子のフレッシュコンビの司会により、三田会・白門会の来賓の方々のご紹介、そして早稲田大学から、渡邊義浩（理事）・高橋知裕（地域コーディネーター）様が出席で、「早稲田のカラー」は「知性のみならず、しなやかな感性」と誰もが納得のスピーチをいただきました。



元気に挨拶する内田進会長

さらに県下稲門会（12稲門会）の皆様のご挨拶の後、長瀬輝行顧問の発声にての乾杯、食事をしながらの歓談が続く、お酒も入って大分和やかな雰囲気になったところで、鈴木恒夫藤沢市長がご到着、いつもながらお元気なトップに励まされました。

そして長寿表彰。穴水克侑・佐

藤壽一・田中邦彦・前田勤の4名の方が豊饒たるお姿を見せてくださいました。



ご出席いただいた長寿表彰の皆様

さていよいよお楽しみみの時間です。今年は「myu:z（ミューズ）」のお二人。美人デュオ、「癒しのハーモニー」です。美しくよく通る声で、出席者の校友に気を使った選曲、「なごり雪」「若者たち」さらには「蘇州夜曲」など私達が嬉しくなる「昭和歌謡」が続きます。すっかり楽しくなってお酒もお話も進んでいます。「お話」はちよつと「ミューズ」のお二人にゴメンナサイ。つついっ楽しいかったです。

コンサートが終って：新入会員の紹介です。宮崎政良・菅原光志・塩口修治の3名が駆けつけました。今後一緒に楽しんでいきましょう！



新入会員で紹介された3人衆

（山下扶佐子 記／写真 高野尚志）

最後は恒例の校歌斉唱。全員で一つの輪を作り、肩を組んで、「都の西北」を高らかに。そこに素敵なパフォーマンスがありました。平成28年卒の野澤大地さんが登場、バリバリの応援団卒会員です。歩き方から校歌の仕切りまで、熱演ぶりに感動してしまいました。今後ともお願いします！

今年の「新春の集い」も一貫して流れるものは「気さくでアットホーム、そして前向き」早稲田全開です。今年一年もこれで乗り切りましょう。



「myu:z（ミューズ）」のデュエット



中心は応援団OB・野澤大地会員

平成31年・令和元年度
役員・幹事一覧

*会 長

内田 進

*幹 事

植田 智之

大庭 信俊（昭46理工）

小泉 英春

公平 伸夫

酒井 一二

笹井 修一

佐藤 順子

梶倉 康博（昭46法学）

庄司 修

神藤 利路（昭51商学）

杉下 由輝

鈴木 豆生

鈴木 邦彦（昭56教育）

高野 尚志

瀧澤 和美

*監 事

大川 孝之

渋谷 道夫

葛西 暢人

加藤 太一

永田 昇

元 憲幸

※太字は新任

山下 扶佐子

山口 金雄

本谷 龍守

皆川 龍司

松嶋 交治

舛岡 英治

八田 幸男

野村 幸治

中野 美昭

中野 正一

洞 江 良

田 中 雄一

田 口 英朗

平成31年度

長寿表彰者

長寿表彰は学部卒年換算で卒後60年の方々に贈られます。おめでとございます。

★昭和33年卒業

穴水克侑・金井正毅

河野剛雄・佐藤壽一

田中邦彦・橋本正義

昼田 實・前田 勤

牧原 格・和田正武（敬称略）

2019箱根駅伝

秋田稲門会より応援来る

今年で4年目となり、すっかり新春の恒例行事となった藤沢稲門会と秋田稲門会との交流事業、箱根駅伝の応援と新年交流会に、今年も佐野元彦会長をはじめ6名の秋田稲門会メンバーが参加しました。

早稲田往路3区の選手が我々の目の前を通過したのは、まさかの18位。予想外の展開に驚きました。母校のタスキを掛け懸命に走る選手の息遣いや迫力を直接肌で感じる事ができて、とても感動しました。

その後、秋田稲門会一行は遊行寺に参詣し、秋田県鹿角市出身のご主人が経営する「宗平」で行われた交流会に参加しました。今年もまた、秋田の地酒で大いに盛り上がります。



肩組み合って校歌熱唱

上がり、交流を深めることができました。藤沢稲門会の皆様に深く感謝申し上げます。

藤沢稲門会の皆様には、これまでも「竿燈まつり」や「大曲の花火」で秋田にお越しいただいておりますが、今後とも末永く交流が続くことを期待しております。

次回は冬の秋田の祭りに是非お越しください。秋田稲門会一同、秋田での再会を楽しみにしております。

(秋田稲門会・木村雅彦記)

女性の会

1月30日、神奈川県支部女性の会が大山の麓にある風情豊かな小笠原旅館にて開催された。今回は長塚幾子伊勢原稲門会会長の声掛けにより、8稲門会(横浜・鎌倉・茅ヶ崎・厚木・秦野・小田原・伊勢原・藤沢)の女性幹事14名が参集。当会からは瀧澤幹事と佐藤の2名が出席した。

まず自己紹介に始まり、各稲門会での女性会員の活動状況が報告された。目下の共通の課題は女性校友数の伸び悩みである。その中で、藤沢稲門会では組織拡大委員会や事務局の方々の地道な勧誘活動により、若干ながら女性校友数が増加している現状に感謝したい。会も後半になり、サプライズで鎌倉の4幹事による美声での「中

県支部「女性の会」に参加して

国語版・里の秋」が披露され、さらに和やかな雰囲気にも包まれた。今後は県支部女性校友ネットワークによる相互の情報交換を推進し、交流を深めていくという点で思いをひとつにした。各稲門会女性校友の活動の充実に向けて有意義な一日となった。(佐藤順子記)



あたご滝前で女性幹事の皆様

2019箱根駅伝

(参加者)

藤沢三田会／鎌倉稲門会／川崎稲門会／相模原稲門会／逗葉稲門会／大和稲門会／横須賀三浦稲門会／秋田稲門会／遠州稲門会／取手稲門会／他

(ご寄付)

藤沢三田会／鎌倉稲門会／相模原稲門会／逗葉稲門会／大和稲門会／横須賀三浦稲門会／内田進／片山徹／神谷義明／久我陽一／篠原祐希／高橋美隆／三上捷一／三輪明広／他

写真展を終えて

第12回写真展が2月26日（火）から3月3日（日）まで、ルミネ藤沢店6階の市民ギャラリーで開催されました。

藤稲フォトクラブ

今年は出展者24名がテーマ作品の「まち」を22点、自由作品を50点、合計72点を展示させて頂きました。

期間中の来場者数は638名。藤沢稲門会の会員をはじめ、多くの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。

ご来場の皆様からは「全体として素晴らしいかった。年々上達し

ている」、「写真のレベルが高く、何を撮りたいかが示されている」、「良い視点でシャッターチャンスをつまえている」等、心温まるお褒めの言葉を頂戴しました。

来年からの会場は藤沢駅南口の「ODAKYU湘南GATE」6階の新しい藤沢市民ギャラリーに変わります。会員一同、新たな場所での開催に向け、さらに良い作品を生み出せるよう、撮影技術の向上に努めて参りたいと思っております。

岡本道一（昭和37・商学）



作品の前に集合する出展者一同

「女性校友ブチ懇親会」に参加して

女性の会

雪の予想が出る風の冷たい1月26日、第4回「女性校友ブチ懇親会」が寿司ダイニング「甚伍朗」で開催された。参加者17名で初めて参加したのは辺野喜瑛子さんと林陽子さんの2名。

乾杯の後、アンケート記入、発表。内容は「日頃の家事の合理化策」について。女子会だけあって料理の手抜きの話が多かった。たとえば簡単な白身魚のごま煮。栄養もあり簡単で美味しい。また小皿にのりをしきその上に餅、チーズをのせ40秒

ほど電子レンジするなど。ミニまな板の利用。牛乳パックを広げて清潔に洗い、保存。フルーツや野菜、ハムなどを刻むときに便利。使い捨てにする。云々。

前回のアンケートの結果も発表された。男性会員の参加を認めてもよいかどうかという内容もあったが、当面は現状維持でいくとのこと。

自己紹介では例の如く名前と卒業学部、今年の抱負などを発表した。あとは歓談となったが麻雀サークルを立ち上げるとの話が出て、興味を持つ人が続出して盛り上がり



世代を超えた女性陣が大集合！

話。自己紹介が終わる頃から弾み始めて、2次会にも行きそうな雰囲気、寒さも忘れ第4回ブチ懇親会は成功のうちに幕を閉じた。和田千賀子（昭和46・文学）

茅ヶ崎散策と牡蠣鍋を囲む会

四季の会

鮫鯨「河豚」「鰯」と続いた鍋シリーズの第4弾として、牡蠣鍋を囲む会が四季の会・2019（冬）として企画されました。時は2月23日（土）、場所は前回と同じ、辻堂の富久鯨にて行いましたが、宴会に入る前に、恒例のプチイベントを実施しました。

内田会長以下、幹事の庄司・中野・田中4名に舩岡・山本・庄司夫人を加えた7名で、茅ヶ崎にある開高健記念館をまず見学、次に隣接した茅ヶ崎ゆかりの人物館（市川団十郎がメイン）を見て回って久しぶりに格調高い時間を過ごしました。

その後、午後5時半より、宴会から参加の7名（初参加は甘粕様・大庭様）が加わり総勢14名となって、昨年入会した野澤君のご



茅ヶ崎・開高健記念館前で

実家である富久鯨の2階を借り切って内輪の宴会として大いに騒ぎ、また語り合いました。約2時間があっという間の楽しいひと時でした。次回も奮ってのご参加よろしく願います。田中雄一（昭和50・政経・経済）

湯河原梅林鑑賞と幕山に登る

ハイキング部

初春のいくらか寒さの緩んだ2月16日、14人が参加しました。

幕山（625m）の湯河原梅林は、日経新聞の「早春、絶景の花の名所ランキング」では断トツの一位に選出、艶やかな4千本の紅白のじゅうたんが堪能できます。

湯河原駅からバスで10分程度の幕山公園が発点で山麓の日当たりの斜面の五分咲きの梅にカメラを向けつつ徐々に登って行きます。

公園内では3月中旬まで「梅の宴」と銘打って、町を挙げてのイベントや売店が元気に並んで暖かい春に手を伸ばそうという意気込みが感じられます。

平成卒の会

1月12日(土)に初めて、湘南地区の平成卒の会、合同新年会を開催し、茅ヶ崎・平塚・藤沢稲門会から(鎌倉は、所用と重なり欠席)で、11名の参加者でした。

新年会のお店「はっぴいあわー」のオーナーも早稲田大学出身と、どこを見ても、早稲田大学卒業生ばかりなので、何の気兼ねもなく、大学時代の思い出話などに花が咲きました。

更に、今年の稲門祭では、平成卒の会で、合同ブース出店を計画。色々なアイデアを出し合う事で絆や友情を深めることができ、今後は、もっと楽しく活動をしたということ、藤沢稲門会に、2名入会予定となり、引き続き、若手の新会員増強にも努めてまいり



さすがにお若い平成卒の皆さん

ます。平成卒の会は、今年は稲門祭の出店を初め、色々企画や行動をしながら、各稲門会を盛り上げていきたいと思しますので、大先輩方の温かい眼差しとご支援・ご協力の程、宜しくお願い致します。

杉下由輝(平成9・教育)

3地区合同新年会を開催

我々は一路急坂を1時間半近く登り、寒さ対策の重ね着を一枚ずつ脱ぎながらも山頂に着く頃には汗びっしょり。相模湾・真鶴半島を遥かに望みながら弁当をおいしくパクつき下山の英気を養いました。

帰路に希望者は駅近くの湯河原温泉に寄り、汗で冷えた体を温めたり、一杯飲みながら寄り道したりと、外から中からと温め直してハイキングを締めくくりました。

小倉正道(昭和44・商学)



幕山と湯河原梅林を背に

穂 漣

文芸サロン

『かるた藤沢百趣』より

〈道路〉

藤沢駅から 清浄光寺

遊行通りと 名が残る

江の島参道 たこ煎餅は

トンビも好物 ご用心

緑豊かな 善行の道

往きも帰りも 坂に泣く

無人タクシー 世界の先駆

ライフトアウンで 試運転

藤沢バイパス 圏央道で

中央 関越 東北へ

〈宿場〉

急げば着くか 藤沢宿に

お江戸日本橋 七つ立ち

藤沢橋の すぐ近くには

遊行寺門前 赤い橋

弥次喜多通った 藤沢宿に

江戸の面影 ちらほらと

飯盛女も 一緒に眠る

藤沢宿の 永勝寺

お伊勢参りは なかなか行けぬ

せめて花見を 伊勢山で

〈市民〉

おいで藤沢 行こうよ松本

海山結ぶ 姉妹都市

市民オペラや 藤沢市展

市民の文化 華と咲く

市民まつりの 小学生は

ブラスバンドで 誇らしげ

エコの温水 子供の声も

プールに満ちる 石名坂

小さな江の島 大きなニュース

オリンピックが 二度も来る

藤稲言葉遊びの会

「藤沢百趣」と藤稲言葉遊びの会

一昨年、言葉遊びの会で練り上げたカルタ「藤沢百趣」は、穂漣紙上で順次掲載していただき、今回で百首が出揃います。

一方で、会員作品展でパネル展示をしたり、市の芸術文化振興会への紹介に伴い、藤沢市交流館でカルタのお披露目をさせていただいたり、また忘年会にくじ引きの景品として提供したり…と啓蒙に努めてはいますが、大量に作成する財源がないため、現在のところは、手作りで一箱ずつ作り上げているところです。

それでも二十箱くらいは完成し、言葉遊びの会でも大半の会員に行き渡り、昨年と今年の新年例会では昼食会の後、カルタ会をして遊ぶことができました。

いろはカルタのような絵カルタと違い、百人一首と似た字カルタで、相違点も大いにあります。

短歌（五七五七七）ではなく都都逸と同じ七七七五の形式であること、百人が一首ずつ作ったのではなく会員が持ち寄った原案を全員で取捨選択し推敲したもので原作者名は発表しない。なるべく口語を主体にした、などです。

内容的には、藤沢に関係する風物等を、歴史・交通・産物など十のジャンルに分け、その中で考えられる十のテーマに絞って、でき

るだけ藤沢を理解できる内容に作り上げました。

それでも原作者の持ち味は随所に残り、硬軟織り交ぜた語り口は適当な変化となつて、面白味が出ています。

しかし当初は、駅伝などは早稲田に特定した内容に偏つたため、選手中心のもので応援中心のものと、それぞれ一首ずつに限定してまとめ上げ、どの学校にも共通する内容に変えるなど、の苦労もありました。同様に慶應のSFCに關係したものも、オブラートをかぶせたりしました。

実際にカルタ競技として遊んでみますと、結構面白く、参加者は次第に熱が入って、会長である芥川賞作家の宮原昭夫先生以下みんなが「いいカルタだなあ」と自画自賛しています。子供にも大人にも楽しめる内容なので、ご家族向けにもお勧めです。

来年もきつと新年カルタ会はあるでしょうから、興味のある方は会員であるなしに拘わらずご参加ください。

言葉遊びの会では、これまでカルタ以外にもいろいろな遊びをしています。つぎは当会独自で開発した自由連歌の、第一回作品をご披露しましょう。お楽しみに。

なお、当会に興味をお持ちの方は、同好会通信をご参考にご連絡

ください。

藤稲言葉遊びの会

代表 三瀬信道

行事予定

■地引網 — 湘南の潮風に遊ぶ —

日時・6月30日（日）

会場・鵠沼海岸 堀川網

（前年と同じ）

■第19回 藤沢稲門会作品展

日時・8月27日（火）

9月1日（日）

会場・藤沢市民ギャラリー

（ODAKYU湘南

GATE6階）

編集後記

今年の春先は三寒四温の天候不順に始まり大相撲白鵬の全勝優勝、貴景勝の大関昇進、高校野球の東邦熱闘そして『平成』から『令和』への新元号発表と関連の行事。更にオリンピック、パラリンピック準備。世の中は大きな出来事が多い。それらは健康寿命が延びる成果につながっていきます。

藤沢稲門会でも今年は様々な行事が行われます。酒は朋友の徳ありといいますので大いに楽しく過ごしていきたいと思います。

（高野尚志 記）

編集委員長 舛岡 健

編集委員 高野尚志・中野正一

山口金雄・山下扶佐子